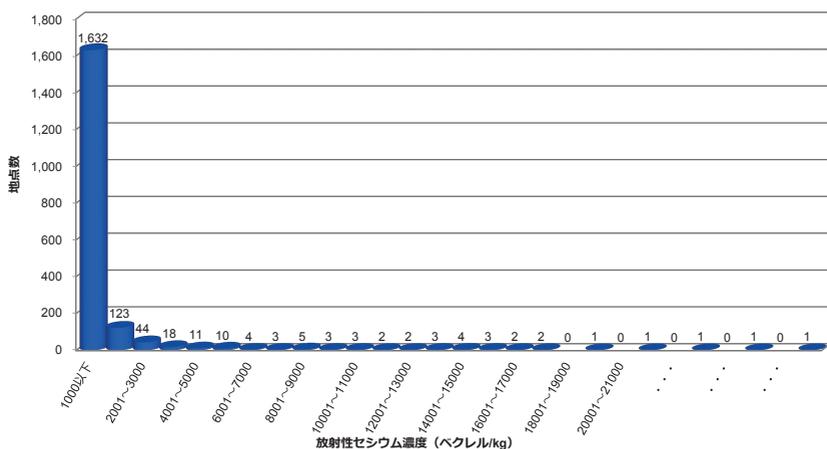


河川底質（分布）

河川（底質）の放射性セシウム濃度ごと（1,000ベクレル/kg）の頻度（平成25年度）



※平成25年度調査結果（岩手県(80)、宮城県(76)、福島県(795)、茨城県(212)、栃木県(276)、群馬県(214)、千葉県・埼玉県・東京都(226) 計1879地点)

平成25年度水環境放射性物質モニタリング結果（環境省 水・大気環境局）

河川底質の放射性セシウム濃度について、2013（平成 25 年）にはのべ 1,879 地点で調査が行われました。

調査の結果から、ほとんどの地点では放射性セシウムの濃度は 1,000 ベクレル /kg 以下であることがわかりました。

本資料への収録日：2013 年 3 月 31 日

改訂日：2014 年 3 月 31 日

：2015 年 3 月 31 日

本情報は 2013 年の情報で、事故から現在に至る途中経過の情報です。

関連 Q&A

- ・ 3 章 QA1 モニタリングの実施状況について教えてください
- ・ 3 章 QA2 セシウムをはじめとする放射性物質の汚染状況の調査はどうなっていますか
- ・ 3 章 QA6 河川・湖沼のモニタリングの実施状況はどうなっているのですか
- ・ 3 章 QA12 雨水や日常食のストロンチウム 90 やセシウム 137 はどのようにすれば測れるのですか
- ・ 3 章 QA21 昔の核実験でできた放射性物質が今も残っているというのは本当ですか
- ・ 3 章 QA23 1980 年まで行われていた大気圏内核実験で生成したストロンチウム 90 やセシウム 137 が、現在でも一般の環境に残っているのは、なぜですか